

三菱学校用ロスナイ システム部材
寒冷地運転用センサー

形名

PG-50KS

据付工事説明書

販売店・工事店様用

この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

据付工事の前に、この説明書をよくお読みください。

お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

■据付工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が電気設備に関する技術基準、内線規程に基づいて実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | |
|--|-----------|--------------------------------------|
| | 警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |
| | 注意 | 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |

■“図記号”の意味は次のとおりです。

| | | | |
|--|-------------|--|----------------|
| | 禁止 | | 風呂・シャワー室での使用禁止 |
| | 分解禁止 | | 指示に従い必ず行う |

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

| | | |
|--|--|---|
| | 直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には据付けない 火災の原因 | 指示に従い必ず行う 電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る感電やけがの原因 電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準(*)や据付工事説明書に従い据付ける (*)「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因 漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する漏電した場合、火災の原因 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因 据付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因 |
| | 改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因 | |
| | 浴室など湿気の多いところには、据付けない 感電や故障の原因 | |
| | 風呂・シャワー室での使用禁止 | |
| | 定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電源で使用すると火災や感電の原因 | |

安全のために必ず守ること つづき

注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

指示に従い必ず行う

据付けの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因

特長

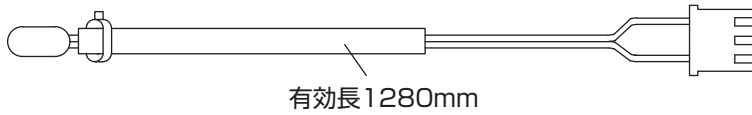
学校用ロスナイおよび店舗用ロスナイに寒冷地運転用センサーを取付けることにより、外気温度が0℃以下になると寒冷地運転機能により、外気温度に応じて自動で間欠運転や給気停止運転ができます。

適用機種

| 製品名 | 適用機種形名 |
|---------|--------------------------|
| 学校用ロスナイ | SCH-40EXC, SCH-50EXC |
| 店舗用ロスナイ | SKU-40EXC-B, SKU-50EXC-B |

※ 寒冷地運転用センサーはロスナイ本体との同時施工を前提としております。ロスナイ本体据付けと併せて施工ください。
 ※ 寒冷地運転用センサーの取付けは、本品1台につき製品本体1台です。複数台に接続することはできません。

各部のなまえと外形寸法図



お願い

外気 (OA) 温度検知用サーミスタ、コネクタおよび配線部を傷つけないように開梱してください。

付属部品

| | |
|-----------------|-----------------|
| コードクリップA…2個 | コードクリップB…1個 |
|-----------------|-----------------|

寒冷地運転機能の設定

- 製品のコントロールカバーを取りはずす。(本体の据付工事説明書を参照してください)
- 製品の基板上的機能切換ディップスイッチ (SW5) にて、寒冷地運転機能の設定を行う。
下表をもとに、必要な機能を設定してください。

◆寒冷地運転機能 (外気温度0℃以下)

| | 本体回路 | | 設定 | 動作 |
|-------|------|-------------------------------------|----|--|
| | OFF | ON | | |
| SW5-6 | 5-6 | <input checked="" type="checkbox"/> | 無効 | 寒冷地運転を使用しない。(工場出荷時) |
| | 5-6 | <input type="checkbox"/> | 有効 | 外気温度 0℃以下を外気 (OA) 温度検知用サーミスタにて検出すると給気送風機の間欠運転を実施します。検知温度によって間欠運転の動作は次のように変化します。 -10℃ < 外気温度 ≤ 0℃ : 運転 30分 停止 30分 (間欠運転) 外気温度 ≤ -10℃ : 運転 5分 停止 55分 (給気停止運転) 寒冷地運転中も排気送風機は運転を継続します。給気停止運転時のみ運転動作を設定可能です。設定方法は「給気停止運転中の排気送風機動作設定」を参照ください。 |

お願い

- 元電源 (ブレーカー等) を切ってから作業を行ってください。
- スイッチを切り換える際に回路に触れないようご注意ください。誤って触れますと静電気により回路が破損するおそれがあります。

◆給気停止運転中の排気送風機動作設定 (本体基板上的ディップスイッチ・ジーニアスリモコンから設定)

| | 本体回路 | | | ジーニアスリモコン | | | 設定 | 動作 |
|-------|------|-------------------------------------|------|-----------|-------|------|-------------|---|
| | OFF | ON | チェック | 機能設定 No. | 機能設定値 | チェック | | |
| SW5-9 | 5-9 | <input checked="" type="checkbox"/> | | 14 | 1 | | 設定風量 で運転 | 給気停止運転中、排気送風機は「リモコンの設定風量」で運転します。(工場出荷時) |
| | 5-9 | <input type="checkbox"/> | | | 2 | | 弱運転 | 給気停止運転中、排気送風機は「弱風量」で運転します。 |

※ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路SW優先)になっています。

◆外気温度表示 (ジーニアスリモコンから設定)

ジーニアスリモコンで「センサー値表示」を「する」に設定しているとき(ジーニアスリモコン据付工事説明書8.3.(5)③参照)、外気温度の表示する/しないを設定します。

| 機能設定 No. | 機能設定値 | 動作 | チェック |
|----------|-------|--------------|------|
| 36 | 0 | 表示しない | |
| | 1 | 表示する (工場出荷時) | |

※ジーニアスリモコンを使った機能設定の変更方法は、ジーニアスリモコンの据付工事説明書【8 各種機能設定 > 6. 機能選択】をご参照ください。

※寒冷地運転機能 (上記) が「無効」に設定されている場合、本設定によらず、外気温度は非表示となります。

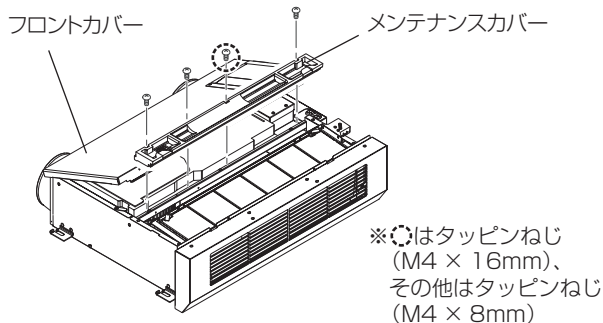
据付方法


外気 (OA) 温度検知用サーミスタの取付方法

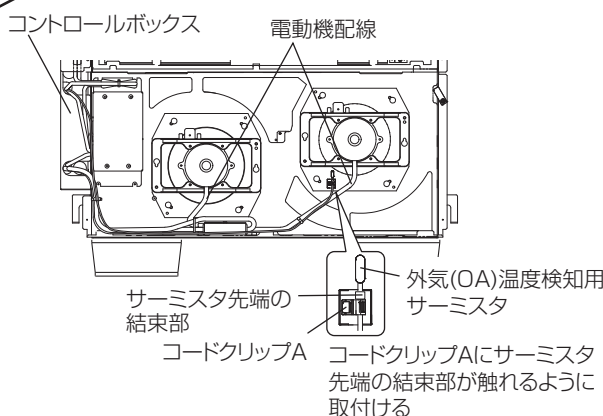
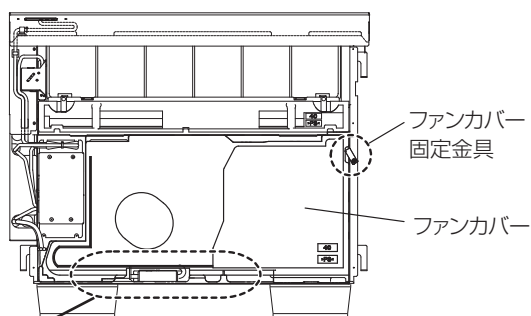
以下は製品本体を床に置いた状態で説明しています。作業を容易にするため、製品本体の設置前に本品を取付けることをおすすめします。

1. 本体付属の据付工事説明書を参考に、メンテナンスパネル、メンテナンスパネルカバー、RA パネル、サイドカバー、コントロールボックスカバーをはずす。
2. 下図を参照してフロントカバーをはずす。
3. ファンカバー固定金具をはずし、ファンカバーをはずす。
4. 下図の位置に付属の外気 (OA) 温度検知用サーミスタのリード線を付属のコードクリップ A で下図の位置に固定し配線する。
5. 配線終了後、ファンカバーを元通り取付けて、サーミスタを電動機配線に沿うように配線する。

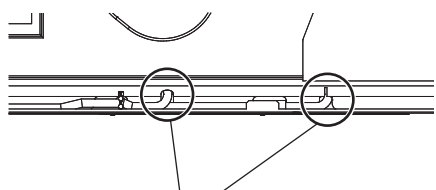
SCH-40EXC, SKU-40EXC-Bの場合



※はタッピンねじ (M4 × 16mm)、
その他はタッピンねじ (M4 × 8mm)

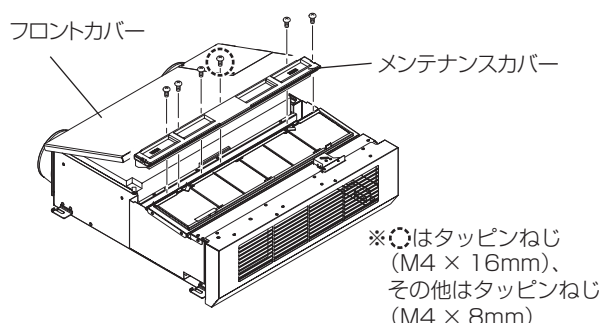



長円部拡大図

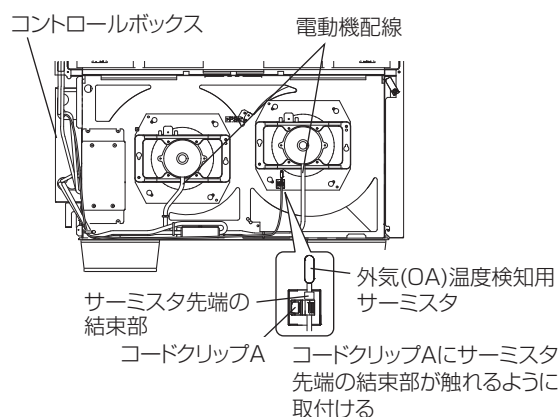
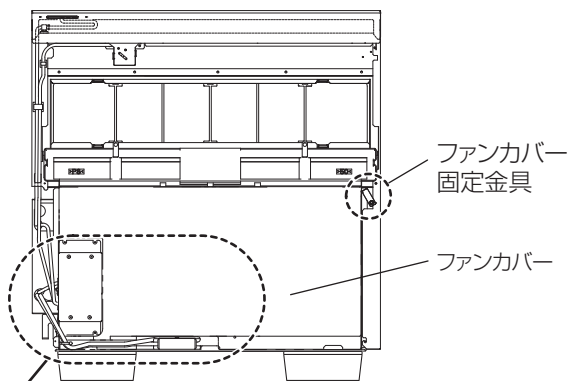


電動機配線および外気(OA)温度検知用サーミスタの配線はファンカバーの切欠き部(図の○印 2か所)を通してください。

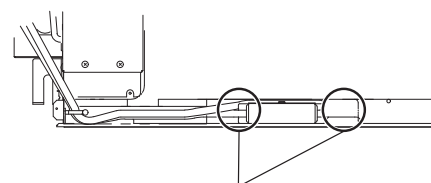
SCH-50EXC, SKU-50EXC-Bの場合



※はタッピンねじ (M4 × 16mm)、
その他はタッピンねじ (M4 × 8mm)



長円部拡大図



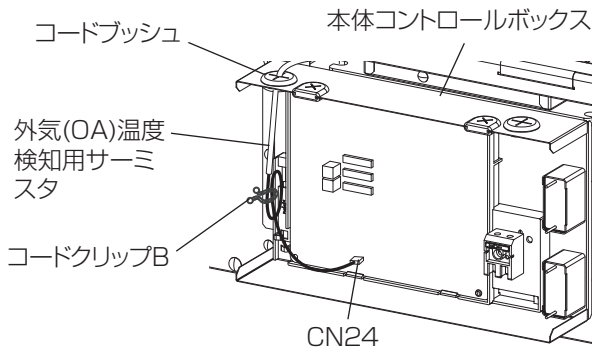
電動機配線および外気(OA)温度検知用サーミスタの配線はファンカバーの切欠き部(図の○印 2か所)を通してください。



警告

電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る
感電やけがの原因

2



本体コントロールボックスに接続する

1. 本体コントロールボックスの左図の部分のコードブッシュに外気 (OA) 温度検知用サーミスタのコンネクターを通す。
2. 本体回路基板の CN24 コネクター (場所左図参照) に外気 (OA) 温度検知用サーミスタのコンネクターを接続する。
3. コードが余る場合は外気 (OA) 温度検知用サーミスタの配線をコードクリップ B を使ってまとめる。(他の部分への接触防止のため)
4. 配線終了後、本体付属の据付工事説明書を参考に、本体コントロールボックスを閉じ、メンテナンスパネル、メンテナンスパネルカバー、RA パネル、サイドカバー、フロントカバーを取付ける。

お願い

- コネクターを接続する際に回路に触れないようご注意ください。

据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがって不具合がないか点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。

下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

(1) 据付チェック

- 外気 (OA) 温度検知用サーミスタの取付け位置はありますか？ 【据付方法 P3 参照】
- 外気 (OA) 温度検知用サーミスタのコンネクターを製品本体の回路基板の CN24 に接続しましたか？ 【据付方法 P3 参照】

(2) 機能チェック

- 製品本体の基板の機能切換スイッチ SW5-6 の設定は正しいですか？ 【間欠運転機能の設定 P2 参照】

異常があった場合

寒冷地運転用センサーおよびその据付に異常があった場合、次のようになりますのでご確認ください。

- コントロールボックス内部のロスナイ本体異常表示ランプ (LED1) が4回点滅する
- ジーニアスリモコン <PGL-62DR> の液晶画面に、エラーコード「5101」が表示される。

そのような場合には、寒冷地運転用センサーのコンネクター接続を再度確認してください。それでも表示が消えない場合にはコンネクター接続をはずして、お買い上げの販売店へお申し付けください。

仕様

| | |
|----------|--|
| 形名 | PG-50KS |
| 電源 | DC 5V ※ロスナイ本体制御基板から電源を供給 |
| 接続方法 | コンネクター接続 |
| 間欠運転仕様 | 30分運転 30分停止 |
| 運転内容 | ロスナイの外気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転 (30分運転、30分停止) を行う。外気温度がさらに低下すると、給気を停止 (5分運転 55分停止) する。 |
| 間欠運転開始温度 | 0℃ |
| 給気停止温度 | -10℃ |
| 感熱部 | 外気 (OA) 温度検知用サーミスタ (間欠運転用) |
| 質量 | 0.1kg |

※ 寒冷地運転用センサーの取付けは、本品 1 台につき製品本体 1 台です。複数台に接続することはできません。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号